



2025 年 8 月 29 日

各 位

会 社 名 暁 飯 島 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 植 田 俊 二
(コード番号：1997 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員 片 桐 倫 明
電 話 0 2 9 (2 4 4) 5 1 1 1

取締役会の実効性評価の結果の概要に関するお知らせ

当社は、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会のより一層の機能を向上させることを目的として、2025 年 8 月期の取締役会の実効性に関する分析及び評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

1. 評価の方法

在任するすべての取締役 7 名（うち社外取締役 3 名）に対して、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明のうえ、以下の項目に関するアンケート（4 段階評価及び自由記載欄を設定）を配布し、全員から回答を得ました。

アンケートの項目は、以下の通りです。

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会の議題
- (4) 取締役会を支える体制
- (5) 株主との関係

2. 分析及び評価結果の概要

当社取締役会は、上記アンケート評価項目について概ね適切に機能しており、取締役会の実効性は十分に確保されていると判断いたしました。

- (1) 取締役会の構成につきまして、アンケート項目について概ね適切であるとの評価となりましたが、前年度（2024 年 8 月期）同様に構成メンバーの多様性や DX やサステナビリティ等専門性の高い取締役が少ないこと等について課題があると認識されました。
- (2) 取締役会の運営につきまして、開催頻度や提出資料等適切であると評価されました。社外取締役による問題提起を含め自由闊達で建設的な議論や意見交換ができる雰囲気であると評価されました。また、建設業界が抱える課題等について踏み込んだ議論があってもよいとの意見がありました。
- (3) 取締役会の議題につきまして、アンケート項目について概ね適切であるとの評価となりましたが、前年度（2024 年 8 月期）同様に中長期的な戦略の議論やサステナビリティ等の議論がやや不足していると認識されました。
- (4) 取締役会を支える体制につきまして、情報提供や入手の機会確保について概ね適正であるとの評価となりましたが、取締役のニーズを踏まえた研修や内部統制上の懸念事項やリスク等の情報について議論を重ねてもよいのではないかと意見がありました。

- (5) 株主との関係につきまして、アンケート項目について概ね適切であるとの評価となりましたが、適切な企業価値の評価につなげるための IR 活動や株主からの意見を取締役会で議論する等が課題であると認識されました。

3. 分析及び評価結果を踏まえた今後の対応

当社取締役会は、今回の分析及び評価結果を踏まえ、構成メンバーの多様性、中長期的な戦略及び企業価値向上に資する議論の深化に取り組んでまいります。また、取締役のニーズを踏まえた研修等継続的に取り組み、更なる取締役会の機能向上に努めてまいります。

以上